

ダイヤデータの構造は以下の仕様になっています。

行程, 車両, 前駅発車時刻, 永巳駅発車時刻, 初期配置位置, 予備

使用できる文字はすべて半角の数字・空白・カンマだけです。1行ずつ改行してください。

各項目間は必ず1つのカンマで区切ってください、カンマは省略できません。

最大行数は99行までです(最終データ込み100行まで)。最終データは必須です。

データ名は、半角・全角可、拡張子は.txt、文字コードはUTF-8、改行コードはLF

として下さい。行程の前後には空白文字は付けないで下さい。

【各項目の説明】

項目名	指定文字	説明
行程	1~8 12 9	1:下り 2:上り 3:下り終着 4:上り終着 5:下り始発車庫出庫 6:上り始発車庫出庫 7:下り始発留置線配置 8:上り始発留置線配置 12:上り方折り返し(留置線経由) 9:最終データ 最終行には必ず指定してください。
車両	数字	前駅・車庫出発・初期配置時点での車両画像を指定します。列車種別はこの車両指定と関連付けされています。 牽引・貨物列車は、行程1, 2以外は指定できません。 上り方折り返しは、普通列車のみ指定できます。 詳細は 列車編成表マニュアル をご覧ください。
前駅・車庫 発車時刻	0~59	前駅・車庫の発時刻(分単位)です、時は省略します。 行程7, 8(留置線初期配置)は、0とします。 重要 各行は前駅発時刻の昇順に並べてください。
永巳駅 発車時刻	0~59	永巳駅の発時刻(分単位)です、時は省略します。 行程3, 4(終着)は、0とします。
初期配置位置	0 5, 6, 7	行程7, 8の時、留置線配置位置を指定します。 5:留置1 6:留置2 7:留置3 他の行程は0を指定します。
予備	0	使用しません。0としてください。

【注意事項】

数字入力注意

全ての数字には**前ゼロは付けしないで下さい、誤動作の原因**となります。

出発間隔、駅間運転時間について

前駅ー永巳間の運転時間は2分です。前駅出発間隔は**2分以上**の時間を開けてください。

永巳駅出発は1分で続行可能です。

出庫・折返しに必要な時間

車庫から出庫する場合、永巳駅出発時刻の**4分以上前**に車庫を出発させてください。

折返し列車は到着出発間に**3分以上(30秒停車指定時は4分以上)**必要です。

データの並び順

データは**前駅発車時刻が昇順**になる様に順序を確認して記述してください。

留置線配置始発列車はデータの先頭に記述して下さい。

データの最後には最終データを記述してください。

始発・終着列車

留置線配置始発列車は上下合わせて**3列車まで**設定可能です。

終着列車は到着後留置線に移動させます、再度運行する事は出来ません。

留置線が満線の場合、車庫に移動させてください。

【データ作成からプレイまで】

① エディターやメモ帳などでダイヤを入力します。

PC等で入力してスマホへコピーする場合、文字コードはUTF-8、改行コードはLFである事を確認してください。

② アプリを起動して、サブメニューを開き、[ダイヤ読込]ボタンをタップします。

③ データ選択メニューが開きますので使用するダイヤを選択してください。

アプリでのデータ読み込み時のチェックは上記仕様の一部でチェックを省略しています。

チェックOKでも正常に動かない場合は、項目間の組み合わせを確認してください。

エラーが分からない時や、正常に動かない時は作成されたデータを添付していただき、

foxworks@haruki-kb.com まで送っていただければお調べ致します。